

子どもたちの環境学習を考えるワークショップ

事例発表



2月15日(木)

山形県教育センターにて開催しました。

去年に引き続き、環境学習に取り組んでいる方々が集い、子どもたちの環境学習について、事例発表と、ワークショップ形式での意見交換をしました。

ワークショップでは、霞城学園高校の奥山和司さんにファシリテーターをお願いし、発表事例をモデルに、活動内容を整理、分析するとともに、3年後の展望までを話し合いました。

参加者の多様な実践に基づく情報や意見の交換は、新たな視野を広めるとともに、お互いの理解を深め、今後の環境学習の取り組みに役立つものとなったようです。

【事例発表】

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ・「地域とともに取り組む環境学習」 | 梅津靖雄氏 (白鷹町鮎貝小学校) |
| ・「ビオトープからエネルギー教育に取り組んで」 | 佐藤寿尚氏 (酒田市立琢成小学校) |
| ・「美わし山形スクール・エコプランに取り組んで」 | 武田喜良氏 (山形市教育委員会) |
| ・「エネルギー出前講座に取り組んで」 | 工藤 満氏 (東北電力株山形営業所) |
| ・「住民が手作りでデザインする里地里山保全活動」 | 出川真也氏 (角川里の自然環境学校) |

この事業の目的は？
きっかけは何？



学校から地域への
広がりとは？



環境に対する意識を
持たせるためには？

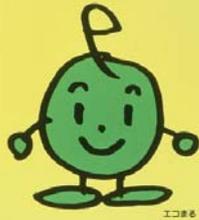


ワークショップ

3年後も活動を続ける
ための、人材、組織、
資金は大丈夫か？



こどもエコクラブ 交流会



3月27日に村山保健所会議室にて交流会を開きました。
各こどもエコクラブが今年度の活動状況を報告しました。

また、全国フェスティバルに参加したイオンチアーズクラブ新東根からは、その様子が報告されました。

その後、東北電力の長岡洋子さんと工藤満さんから、電気やエネルギーについてのお話を聞いたり、電気くらのげの実験や手動発電機を使った実験で、電気のおもしろさと大切さを学びました。



《電気くらのげ》
風船とビニールヒモで
静電気の実験

東北電力の出前講座

手動発電機でシャープペンの
芯を光らせ、焼き切る実験



3月2日 山形大学附属小学校6年3組の皆さん



生活排水の水質検査
実験と牛乳パックを使
ったウインドカー作り
をしました。

後日、お手紙をいた
だきました！

・牛乳パックがこんなに楽しいおもちゃになるなんて、物の大切さを知った。
・将来、風で走る車が出来たら地球温暖化を止められると思った。
・「なぜ？」と考えることは、とてもいいことだと思った。



・排水の汚れが想像以上でびっくりしました。
・これからはなるべく飲み残しを流さないようにしようと思う。
・生活排水についてもっとたくさんの人に知ってもらい川がきれいになればいいと思った。
・環境について興味があるのでこれからも学びたい。

山形県環境科学研究センター

村山市楯岡笛田三丁目2-1 TEL: 0237-52-3124

e-mail: kankyose@pref.yamagata.jp

編集: 環境企画部

平成19年3月30日発行